

MRIを用いた髄膜腫の悪性度評価に関する検討

【はじめに】

脳腫瘍の評価にはMRIを用いることが一般的です。九州大学では2007年より3テスラ(テスラとは、磁気密度の単位で、MRIの性能を表す一つの尺度です。一般に数字が大きいほど詳細な画像が得られる傾向にあります)のMRIを使用しており、従来から用いられていた1.5テスラの機種よりも画質が向上しました。これにより、これまでは得られなかった情報や、得られていても従来より詳細な画像情報が得られることが期待できます。今回我々はこの3テスラのMRIにより得られた画像を元に、髄膜腫の悪性度評価がどの程度可能なのかを探ります。

【対象】

当院放射線部において、2007年4月1日から2010年12月31日までに頭部MRIの撮影を受け、一時診断で髄膜腫の疑いがあると診断された方(その後の確定診断で髄膜腫以外の疾患と診断された方も含みます。)の画像を対象に研究をさせていただきます。

【研究内容】

上記のMRI画像から得られる情報を解析しなおし、この結果と診療録に記載されている病名や症状と比較します。

この研究を行うことで患者様に日常診療以外の余分な負担は生じません。

【患者さんの個人情報の管理について】

本研究では個人情報漏洩を防ぐため、個人を特定できる情報を削除し、データのデジタル化、データファイルの暗号化などの厳格な対策を取っています。本研究の実施過程及びその結果の公表(学会や論文等)の際には、患者さんを特定できる情報は一切含まれません。

対象者となることを希望されない方は、下記連絡先までご連絡下さい。

【研究期間】

研究期間は承認日から2015年12月31日までです。

【医学上の貢献】

この研究により髄膜腫の詳細な評価が可能となれば、治療方針決定の一助になり、患者様の治療と健康に貢献できます。

【研究機関】

九州大学大学院臨床放射線科学

教授 本田 浩(責任者)

講師 吉浦 敬

助教 樋渡 昭雄

助教 山下 孝二

連絡先:

〒812-8582 福岡市東区馬出3-1-1

Tel 092-642-5695

担当:樋渡 昭雄